



2023年4月14日(金)

第62期（2023年3月期） 決算説明会

(2022年4月1日～2023年3月31日)

代表取締役社長

最高経営責任者（CEO）
経営企画部

保木 潤一
山下 洋

HOGY MEDICAL Co., Ltd.



この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。



業績の概要

第62期（2023年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,981		2,202	106.0%
営業利益	6,135	16.7%	6,634	17.0%	499	108.1%
経常利益	6,285	17.1%	6,653	17.1%	367	105.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,370	11.9%	4,316	11.1%	△53	98.8%
EPS	153.00円		177.95円			

増収減益

売上高：増収

：プレミアムキット販売が好調

営業利益：増益

：為替影響等による原価率上昇を、売上増と経費節減で利益を確保

当期純利益：減益

：資産の減損損失を計上

原価

：59.6%(前年比+1.5pt)

：円安の影響により原価上昇(+9.7億)

：原材料費・電気代等のコスト上昇(+5.0億)

：一過性要因(棚卸資産除却)(+1.8億)

：値上げ、製品ミックス(△5.0億)

：償却費の減少(△3.4億)

販売管理費：△175百万円(1.9%減)

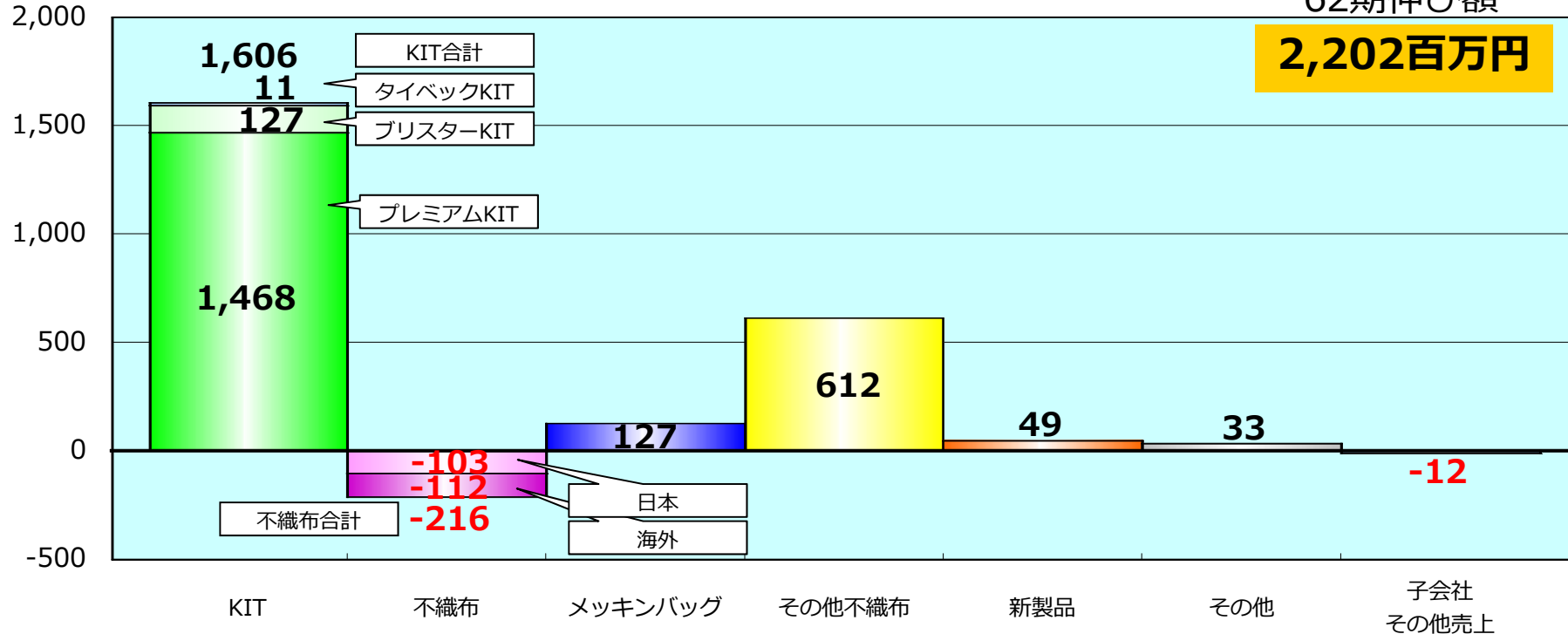
：償却費、試験研究費の減少

第62期（2023年3月期） 主な製品の売上高伸び額

(単位：百万円、端数：切捨て)

62期伸び額

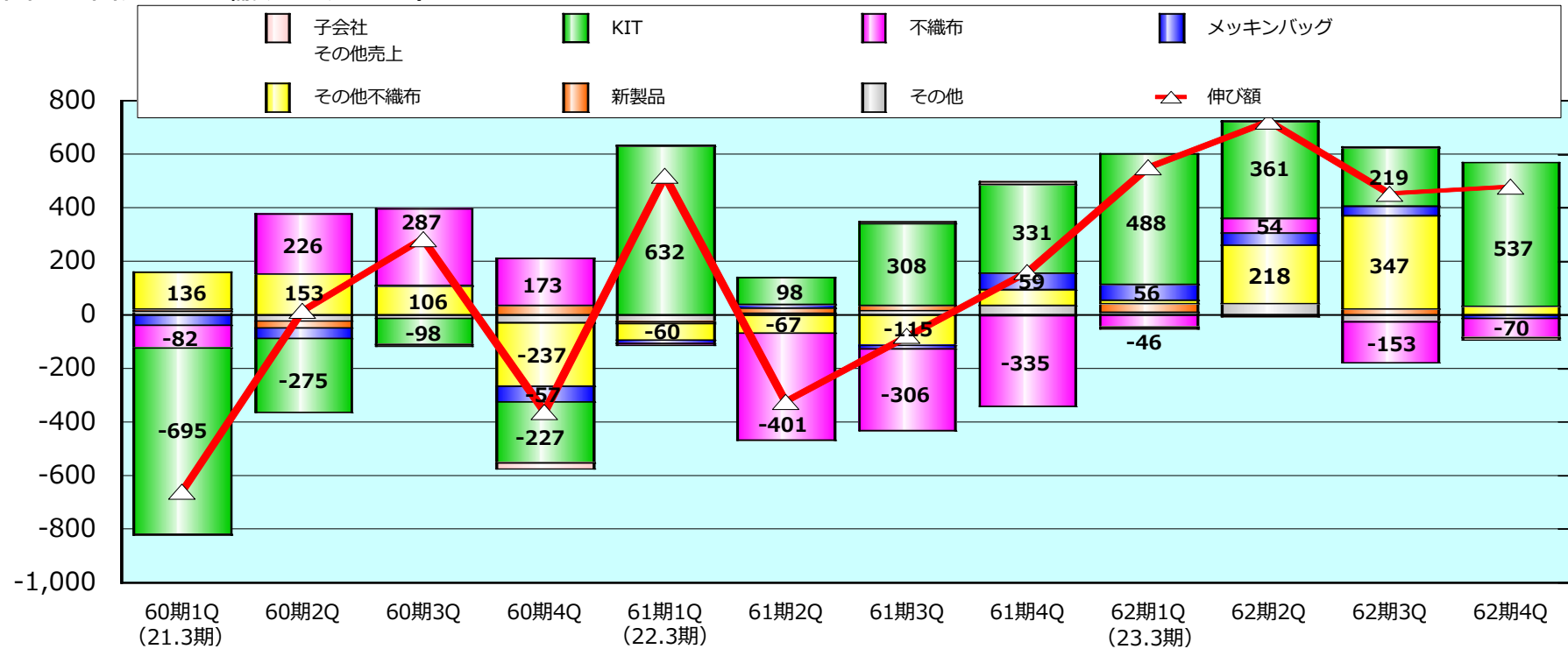
2,202百万円



- ・ **プレミアムキットは販売に注力した結果、新規獲得により売上高が前年比19.1%増加
数量では16.4%の増加**
- ・ 不織布製品は、10月よりガウン製品の値上げを実施し、販売数量が減少
- ・ その他不織布製品は、新型コロナと他社要因の影響により需要が増加
⇒第4四半期では需要は従来まで戻ってきている

第62期（2023年3月期） 四半期別売上高伸び額の内訳

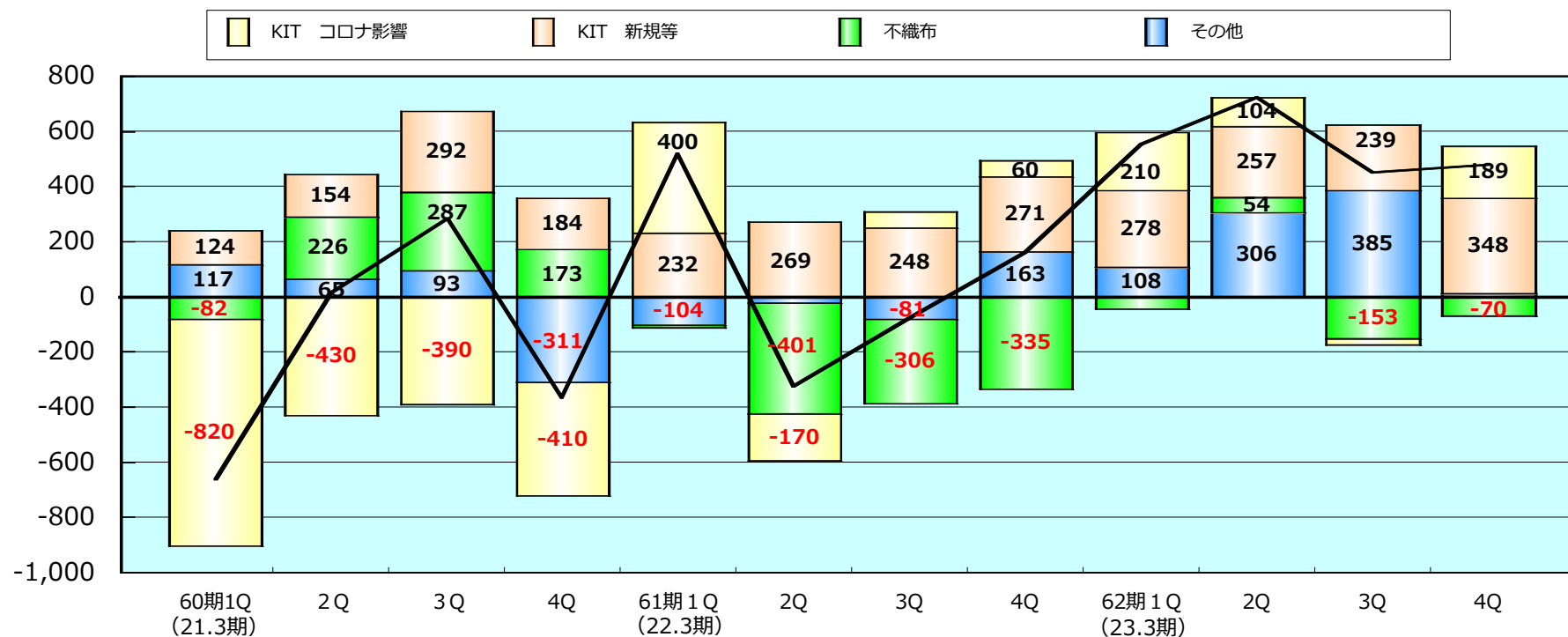
(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・キット製品はプレミアムキットを中心とした新規獲得により増収
- ・その他不織布製品は、新型コロナと他社要因の影響により需要が増加
⇒第4四半期では需要は従来まで戻ってきている
- ・不織布製品は、10月からガウン製品値上げにより販売数量が減少

四半期別 伸びの内訳

(単位：百万円、端数：切捨て)



	60期1Q	2Q	3Q	4Q	61期1Q	2Q	3Q	4Q	62期1Q	2Q	3Q	4Q
KIT コロナ影響等	-820	-430	-390	-410	400	-170	60	60	210	104	-20	189
KIT 新規等	124	154	292	184	232	269	248	271	278	257	239	348
KIT 合計	-696	-276	-98	-227	632	99	308	331	488	361	219	537
不織布	-82	226	287	173	-9	-401	-306	-335	-46	54	-153	-70
その他	117	65	93	-311	-104	-23	-81	163	108	306	385	11
総額	-661	15	282	-365	519	-325	-79	159	551	721	451	478



■ 市場環境

- ✓ 感染者数に応じて医療機関の負担は増減を繰り返す
→以前と比べ**手術件数への影響は軽微に**
- ✓ **医療従事者の人手不足は常態化**
- ✓ コロナ禍において手術件数を増加させ経営改善に取り組む医療機関との2極化が進む
- ✓ 医療機関での**機能分化が促進**（急性期充実体制加算の導入）

■ 決算のポイント

- ✓ 新規獲得によりプレミアムキットの売上高増加（前年比19.1%増）
- ✓ その他不織布製品は、N95マスクの供給能力の増加及び医療機関での使用量の増加、他社要因により特需となったが、3月の需要は従来まで戻ってきている
- ✓ 低利益製品の値上げを実施
- ✓ **円安の影響により原価が上昇**（為替予約による効果で第1四半期は影響が軽微）
- ✓ 原材料、運搬費、電気代の上昇
- ✓ 原価にて棚卸資産の除却を計上
- ✓ 7月取得予定であった新工場Ⅱ期設備稼働を2023年4月へ変更
- ✓ 特別損失において資産の減損損失が発生
- ✓ 年間配当71円（3円増配）



第63期（2024年3月期）経営計画

第63期（2024年3月期）損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	23.3 62期実績		24.3 63期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	38,981		40,890		1,908	104.9%
営業利益	6,634	17.0%	4,720	11.5%	△1,914	71.1%
経常利益	6,653	17.1%	4,900	12.0%	△1,753	73.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,316	11.1%	3,430	8.4%	△886	79.5%
EPS	177.95円		141.40円			

■ 増収減益計画

■ 売上高（1,908百万円、+4.9%）

- ✓ プレミアムキット新規獲得増収
- ✓ その他不織布は特需の反動減

■ 原価（5.6pt UP）

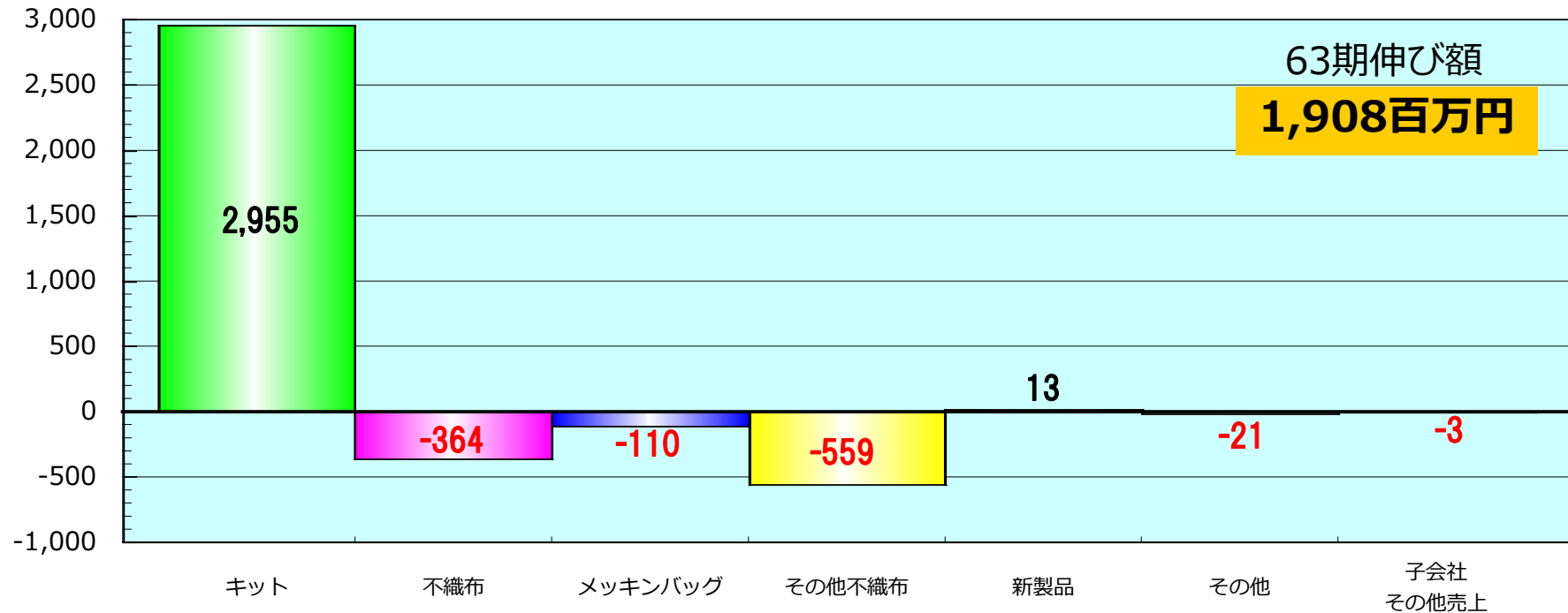
- ✓ 新工場第Ⅱ期を4月に稼働し償却額が上昇
- ✓ 前年度並みの為替水準設定とし、コーポレートレートを**135円**に設定（前年120円）
- ✓ 円安、原材料・資材価格・電気代の高騰が続く
- ✓ 値上げや生産性の改善、経費節減等により原価低減を図る

■ 販売管理費（384百万円、+4.2%）

- ✓ 営業活動促進に関わる費用に集中
- ✓ 物価高騰に合わせて人件費を上昇

第63期（2024年3月期） 主な製品の売上高増減額

(単位：百万円、端数：切捨て)



■ **キット製品**：病院の経営課題に対して貢献できる「プレミアムキット」の新規獲得

■ **不織布製品**：一部製品の値上げによる販売数量の減少が継続

■ **その他不織布製品**：N95マスクの特需の反動減を見込む

利益配分に関する基本方針及び配当について

■基本方針

株主の皆さまへの利益還元の充実は、株主価値の向上につながる重要な経営施策の一つと考えており、連結業績等を総合的に勘案し、その内容を決定しております。剰余金の配当については、安定配当を基本としつつ、一定期間を超えて**運転資金と今後の投資に必要な資金を上回る現預金がある場合は、株主還元施策を実行**する方針を決定。

■63期配当について

- ・ **年間80円（9円増配）**

■自己株式保有の考え方

- ・ 使途が見込まれない自己株式を保有している場合は、自己株式の消却を行う方針
- ・ **7,425,347株の消却を実施**（消却前の発行済株式総数に対する割合 22.7%） 4月12日決議、4月21日実施予定
- ・ 今後も保有する自己株式については取締役報酬の一部へ使用予定

■役員報酬の基本方針

- ・ **取締役が一定程度の自社株式を保有**
- ・ 取締役が自己株式保有によって当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆さまとの一層の価値共有を進めることが目的
- ・ 報酬の割合は「**基本報酬 5・業績連動報酬（賞与） 3・業績連動報酬（株式報酬） 2**」程度とすることを検討

***ただし次回株主総会にて承認されることを条件とする**

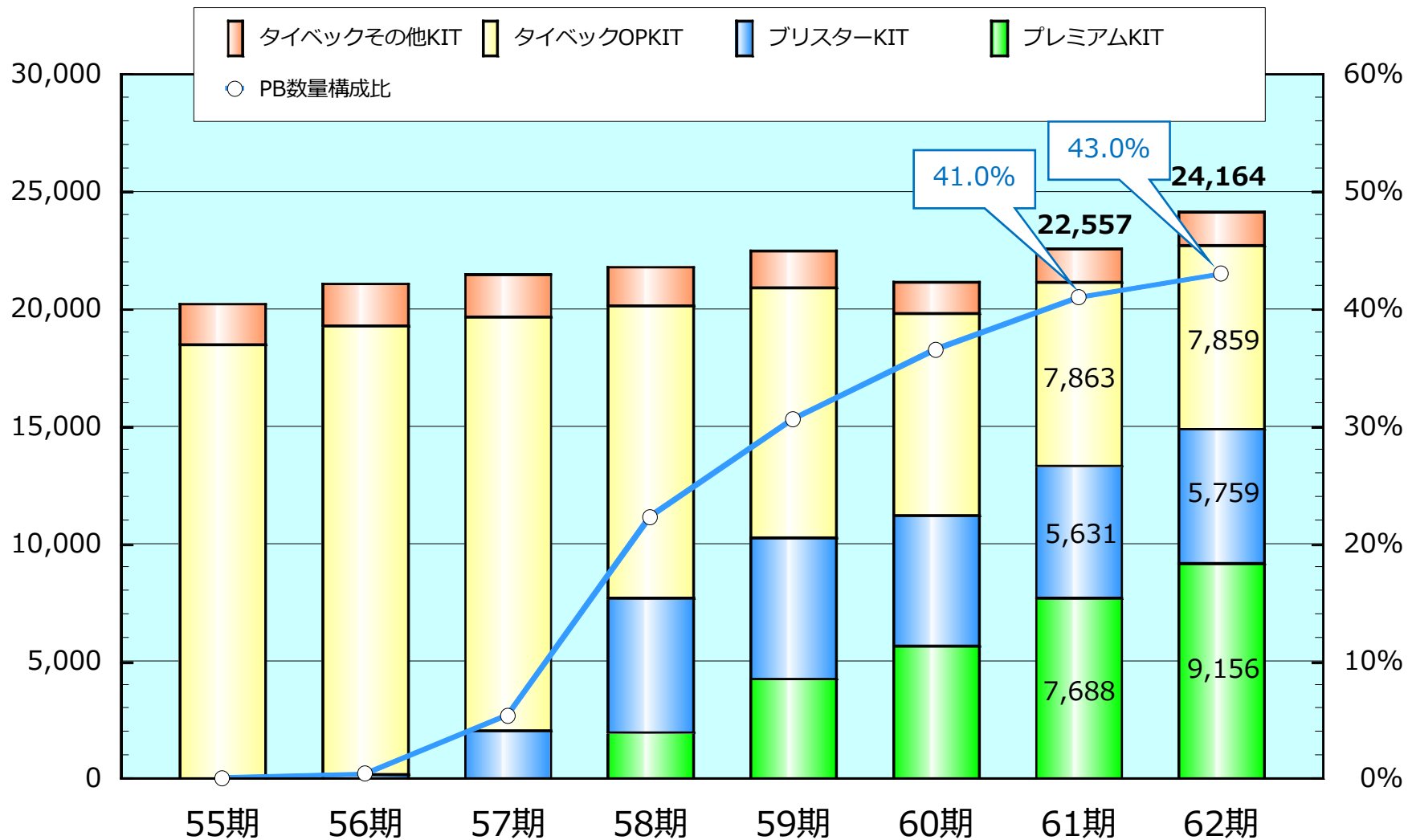
HOGY MEDICAL Co., Ltd.



実績の詳細

キット製品 売上高推移

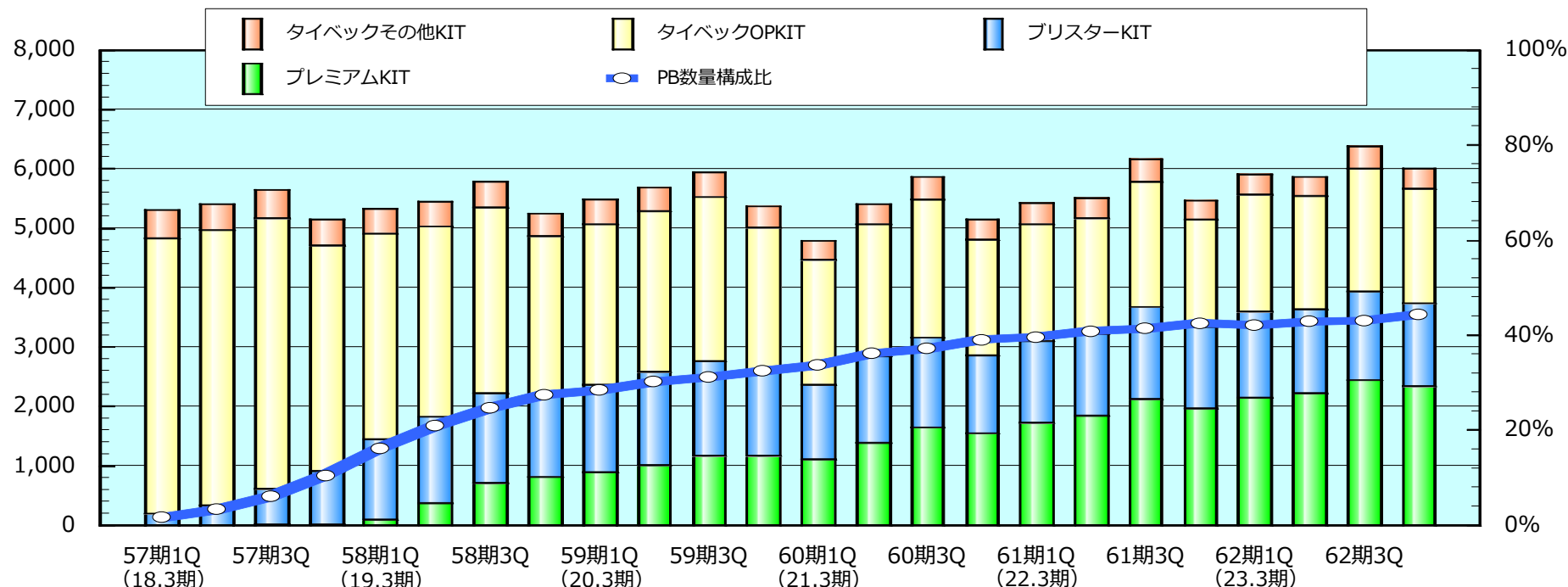
(単位：百万円、端数：切捨て)



HOGY MEDICAL Co., Ltd.

キット製品 売上高推移

(単位：百万円、端数：切捨て)



* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「ブリストーキット」の合算を記載しております

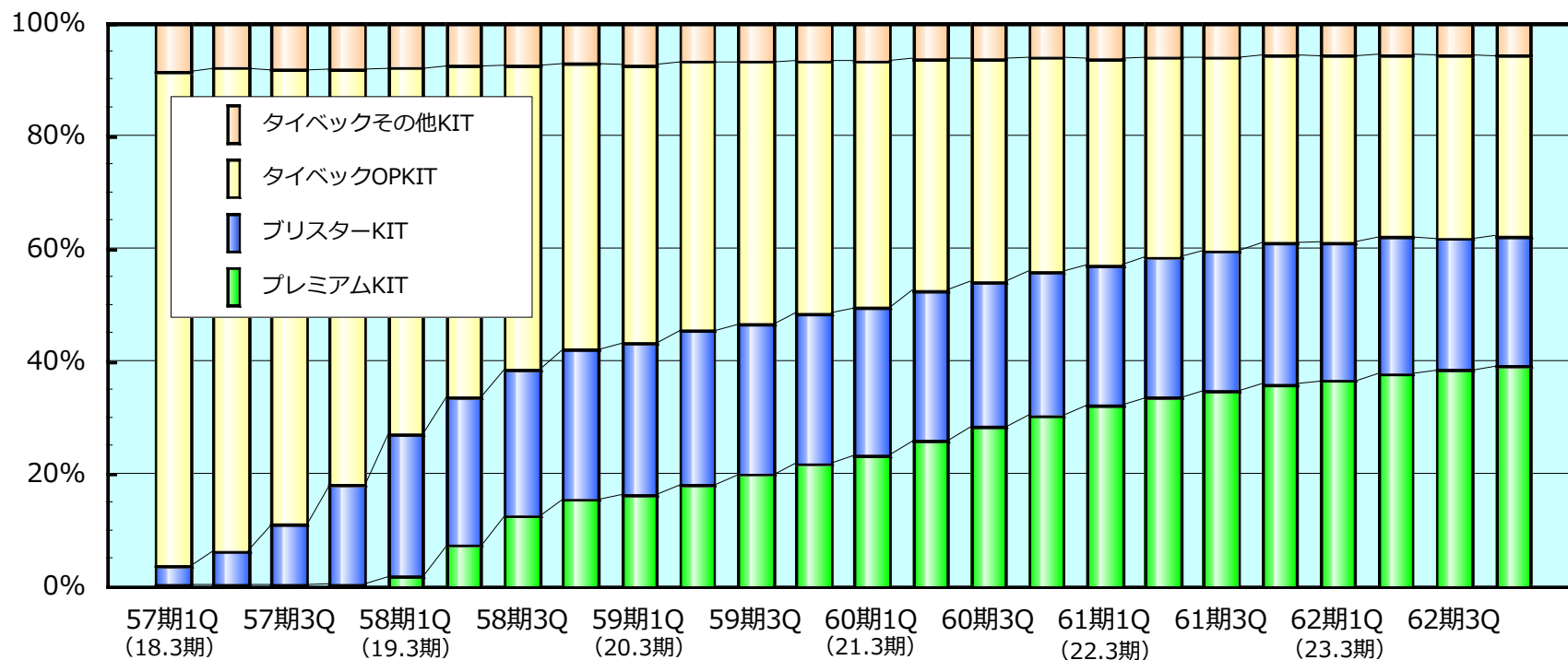
・ 62期第4四半期 前年同期比

- ✓ プレミアム、ブリストー： +402百万円、112.1%
- ✓ タイベックキット： +135百万円、106.3%

・ 62期キット製品構成比 ((プレミアム+ブリストー)/キット)

	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q前年比
売上高	61.1%	62.0%	61.7%	62.2%	+1.2%
数量	42.0%	42.9%	43.0%	44.3%	+1.9%

キット製品 販売構成比推移



* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「ブリストアキット」の合算を記載しております

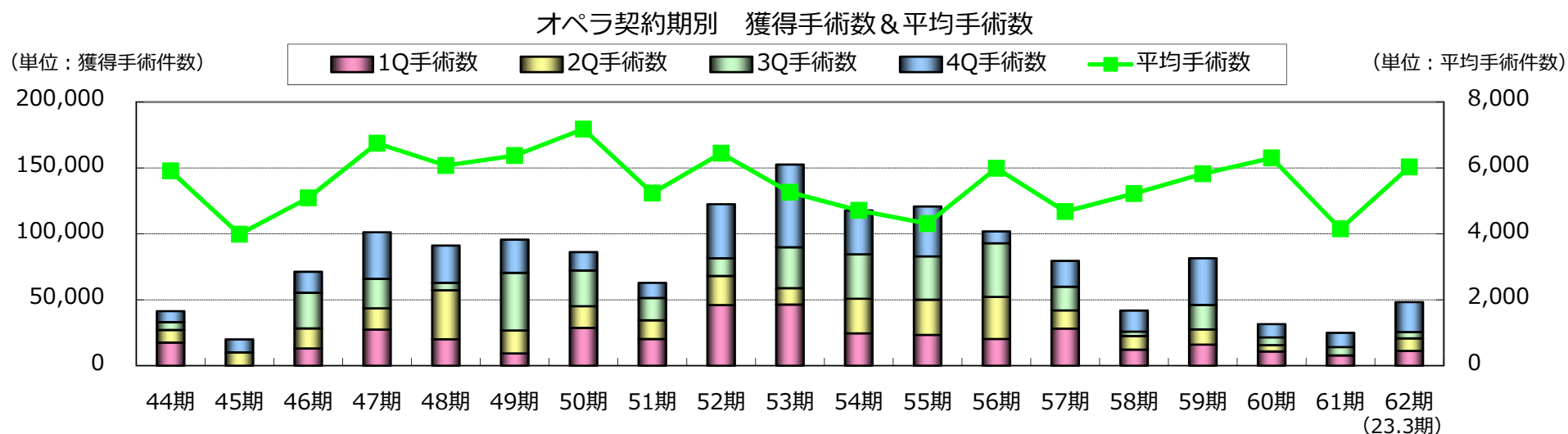
- ・タイベックOPキットの割合が減少し、プレミアムキットの売上高が伸長し割合が増加

オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高 (KIT製品) : 16,074百万円 (前年比 1,004百万円 : 106.7%)

62期契約施設数 : 新規 8施設、解約 5施設

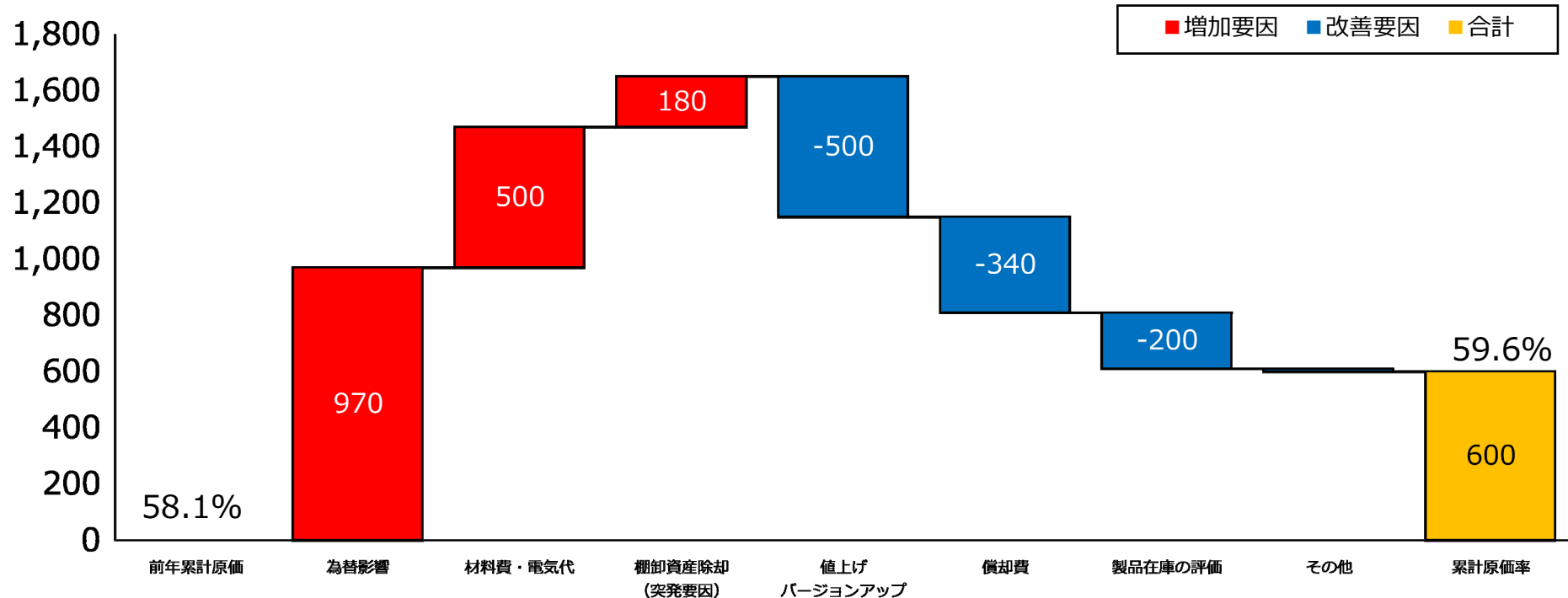
累計契約施設数 : 271施設



- 62期新規契約病院8件
(大学病院本院群 (旧 I 群) : 1件、DPC特定病院群 (旧 II 群) : 5件、D P C標準病院群 (旧 III 群) : 2件)
- 62期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は約6,000件
- オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

第62期 (2023年3月期) 原価率 主な増減要因

(単位：百万円、端数：切捨て)



- 第1四半期 : 在庫製品の評価影響、円安影響は為替予約の効果で軽微
- 第2四半期 : 円安影響、突発要因 (棚卸資産除却・子会社の会計処理の変更)
- 第3四半期 : 円安影響、値上げやバージョンアップの影響で一部改善
- 第4四半期 : 円安影響、値上げやバージョンアップの影響で一部改善、長期滞留品の評価減
- 通年 : 電気代、原材料の高騰

累計の償却合計 : 3,635百万円 (前年比 : 479百万円減)

- ・ 原価 : 2,966百万円 (前年比 : 343百万円減)
- ・ 販管費 : 669百万円 (前年比 : 136百万円減)

第62期（2023年3月期）損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,981		2,202	106.0%
売上原価	21,361	58.1%	23,241	59.6%	1,879	108.8%
売上総利益	15,416	41.9%	15,740	40.4%	323	102.1%
販売費及び一般管理費	9,281	25.2%	9,105	23.4%	△175	98.1%
営業利益	6,135	16.7%	6,634	17.0%	499	108.1%
営業外損益	150		19		△131	
経常利益	6,285	17.1%	6,653	17.1%	367	105.8%
特別損益	0		△464		△464	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,370	11.9%	4,316	11.1%	△53	98.8%
E P S	153.00円		177.95円			

主な増減科目	前年比
荷造運搬費	55
旅費交通費	27
試験研究費	△64
減価償却費	△136

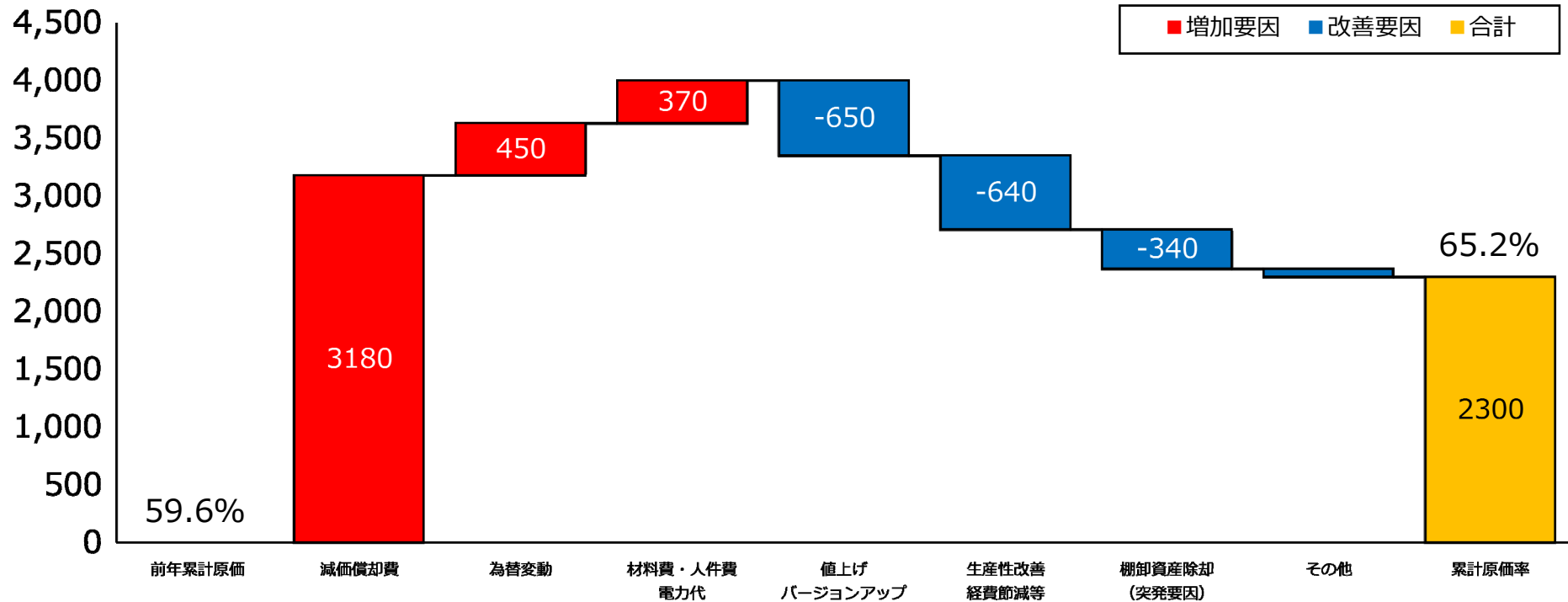
- ・販売管理費：9,105百万円(△175百万円)
 - ✓ 荷造運搬費：売上増加および燃油サーチャージにより増加
 - ✓ 旅費交通費：営業活動増加の影響
 - ✓ 試験研究費：費用計上タイミングの影響
- ・設備投資：1,458百万円（内新工場追加：899百万円）



第63期（2024年3月期）経営計画

第63期 (2024年3月期) 原価率 主な増減要因

(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・円安により原価上昇 (コーポレートレート：135円設定)
- ・償却合計 : 6,750百万円 (前年比：3,114百万円増)
 - ・原価 : 6,147百万円 (前年比：3,180百万円増) (内新工場Ⅱ期稼働分として31億円)
 - ・販管費 : 603百万円 (前年比：66百万円減)
- ・原材料、資材価格、電気代の上昇が続く

第63期（2024年3月期） 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	23.3 62期実績		24.3 63期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	38,981		40,890		1,908	104.9%
売上原価	23,241	59.6%	26,680	65.2%	3,438	114.8%
売上総利益	15,740	40.4%	14,210	34.8%	△1,530	90.3%
販売費及び一般管理費	9,105	23.4%	9,490	23.2%	384	104.2%
営業利益	6,634	17.0%	4,720	11.5%	△1,914	71.1%
営業外損益	19		180		160	
経常利益	6,653	17.1%	4,900	12.0%	△1,753	73.6%
特別損益	△464		-		464	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,316	11.1%	3,430	8.4%	△886	79.5%
E P S	177.95円		141.40円			

主な増減科目	前年比
人件費	187
荷造運搬費	56
広告宣伝費	29
減価償却費	△66

- ・販売管理費：9,490百万円(384万円)
✓ 営業活動に関わる費用の増加
- ・特別損失：前年度資産の減損損失の反動
- ・設備投資：1,500百万円
- ・配当を9円増配し80円とする



2023年4月14日(金)

第62期（2023年3月期） 決算説明会

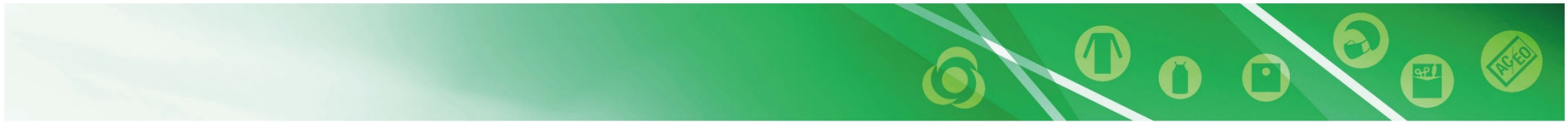
(2022年4月1日～2023年3月31日)

代表取締役社長

最高経営責任者（CEO）
経営企画部

保木 潤一
山下 洋



HOGY MEDICAL Co., Ltd.



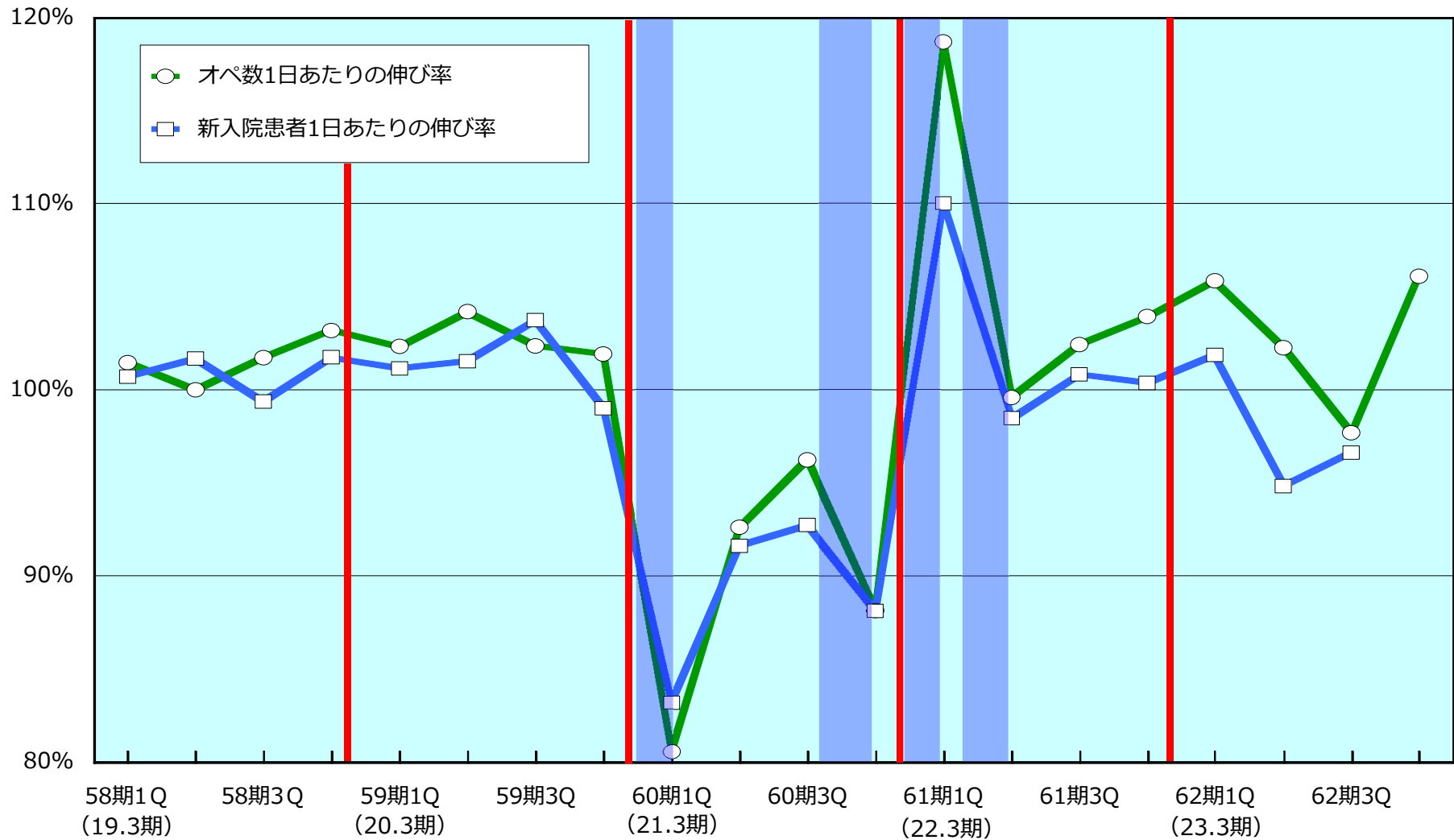
ご参考資料

各種キットの定義について



	プレミアムキット	ブリスターキット	タイベックキット (従来キット)
	新工場 (マルチ)		筑波、美浦
生産場所			
製品形状	手技に合わせて小分けの パッケージにマルチ包装		不織布で包み 滅菌バッグにて包装
安全性	自動化生産によるメリット (入れ間違い、異物混入大幅削減)		従来通り
基準	1症例に必要な材料の 80%以上	1症例に必要な材料の 80%~30%	使用材料の少ない症例 材料の30%未満

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と 新入院患者の伸び率/日



は、東京都の緊急事態宣言期間

HOGY MEDICAL Co., Ltd.